

2017年11月		
筆者	所属	千葉県農林総合研究センター 病理昆虫研究室
	職名及び氏名	研究員 中井 善太
題名	「チャノキイロなび」のナシでの活用	
備考	【図説明】 写真 アメダスデータの入力後に表示される「防除支援チャート」画面	

県内のナシ園では最近、チャノキイロアザミウマによる被害が多く見られるようになってきました。この害虫は夏季にしばしば多発し、被害がひどい場合には早期落葉を引き起こします。防除適期は密度の低い春季ですが、体長が0.8~0.9mm ととても小さいため、この時期に肉眼で確認することは困難です。当センターがこれまでに行った研究から、本種の発育温度条件とナシ園で越冬している成虫の春先の活動開始に関わる気象条件が明らかになりました。これらの条件をもとにして、本種の防除適期を予測するための防除支援情報システム「チャノキイロなび」を開発しました。

本システムは Microsoft® Excel® 2007、2010、2013 上で稼働し、アメダスデータを用いることで誰でも防除適期を簡単に予測できます。気象庁ホームページからナシ園に近い地点の気温、降水量、日照時間、風速のデータをダウンロードし、ワークシートにペーストすることで、図のような「防除支援チャート」画面が表示されます。この画面では、ナシ園で越冬していた本種成虫の春先の活動開始日と、それ以降の各発育ステージ（卵、幼虫、蛹、成虫）の出現期間が表示されます。入力日以降の各発育ステージの出現期間については、平年気温から予測しています。本種の防除適期である第一世代幼虫及び成虫、第二世代幼虫の出現期は年次によって変動します。本システムではこれらが一目で把握でき、防除適期を正確に判断することができます。

「チャノキイロなび」は千葉県庁農林水産部担い手支援課技術振興室に利用申請することで、入手することができます（043-223-2907）。

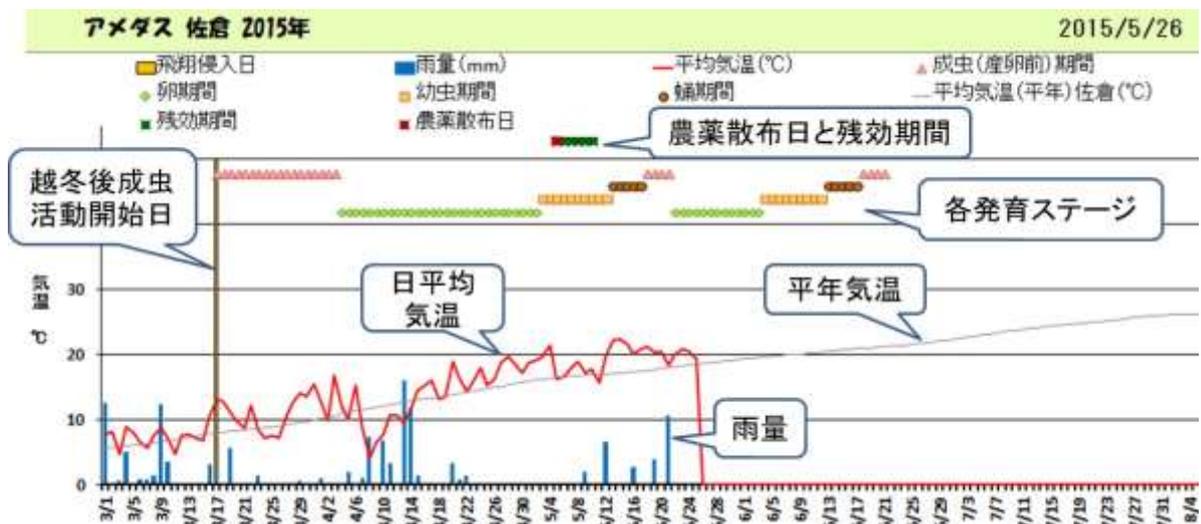


図 アメダスデータの入力後に表示される「防除支援チャート」画面